

# 「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～人生の「目的」とは・・・「目標」とは・・・～

令和6年度も生徒指導部通心(信)を発信(心)しますね。

令和5年度の終業式で・・・「目標」の「標」は・・・「しるべ」、「目的」の「的」は・・・「まと」。

この違いが「目標」と「目的」の違いではないか。考えてみようということでしたね。

夢を実現させるために大切なこと。それは・・・「目的」です。

目的と目標、一見この言葉は似ていますが、同じではありません。

「目的」というのは「何のために」、「目標」というのは「何を目指す」です。

何のために・・・その目的を果たすために、「何を目指す」・・・その目標をクリアするのです。例えば・・・

- いい大学にはいるために(目的)・・・成績1番を取る(目標)
- 甲子園に行くために・・・毎日素振りを1000回する
- 就職するために・・・たくさん資格を取る
- 人の命を救うために・・・消防士になる
- 人の役に立つために・・・就職する

最初の3つは「良い目的のたて方」とは言えません。あとの2つは「良い目的の立て方」です。いけないということではありません。「人生における目的の立て方」としてはちょっと違うということです。

この違いについて簡単に言うと「最初の3つには終わりがある」

んです。いい大学に入ることが目的だったら、目的は達成されて終わってしまう。次は?になってしまう。

後の2つの目的には終わりが無いんです。「人の命を救う」一人救ったら終わりじゃないでしょう。

「人の役に立つ」退職した後だって人の役に立つことはできます。

いい目的はベクトルなんです。矢印なのです。

目標はゴールです。ゴールと言っても最終のゴールではなくて中間のゴール・チェックポイントです。

そこで終わりではないのです。

良い目的には終わりが無い。目的はベクトル(矢印)ですから方向です。方向には終わりが無い。

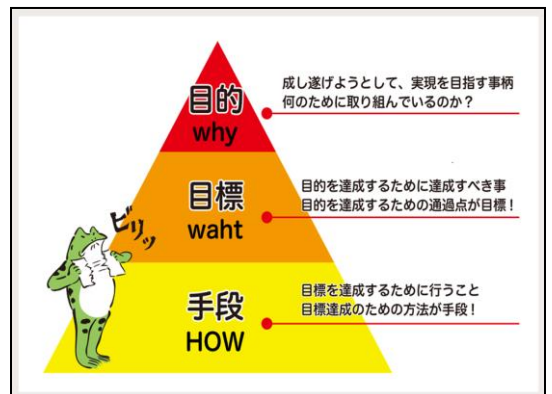
「人の役に立つ」という目的で考えれば、「人の役に立つ」という方向に進む中で、こういう勉強をしよう。こういう大学に行こう。こういうところに就職しよう。こんな仕事をしようというのはすべて目標であって、目的(方向・矢印)の途中にあるチェックポイントでしかない。

大学に合格するためだけに勉強をするのではなく、就職するためだけに就職活動するのではなく、就職しても、就職した後、そこでどれだけいい仕事をするのが大事ですから「就職=終わり」じゃないんです。

就職して自分がどんな仕事をして人の役に立つのかとすることを思い描いて学校生活をしてほしい。

「目的」・・・「何のために」・・・とても大事です。

「私が一番受けたいココロの授業」比井田和孝・美恵(ごま書房新社)



目標(チェックポイント)を設定することは大切なことです。ただ・・・終業式でも言いましたが、目標をクリアできなければ、ダメということではない。目標を設定して、懸命に取り組む・・・その「過程」の中で、思い通りにいかなかったり、失敗したり、悩んだりすることで人は成長するんです。

目標の達成という結果とともに、それまでの「過程」も大切に・・・人生の「終わりのない目的」が見つかる県高生活をおくれたらいいですね。今年度の「目標」は定まりましたか? さあ、令和6年度スタートです。